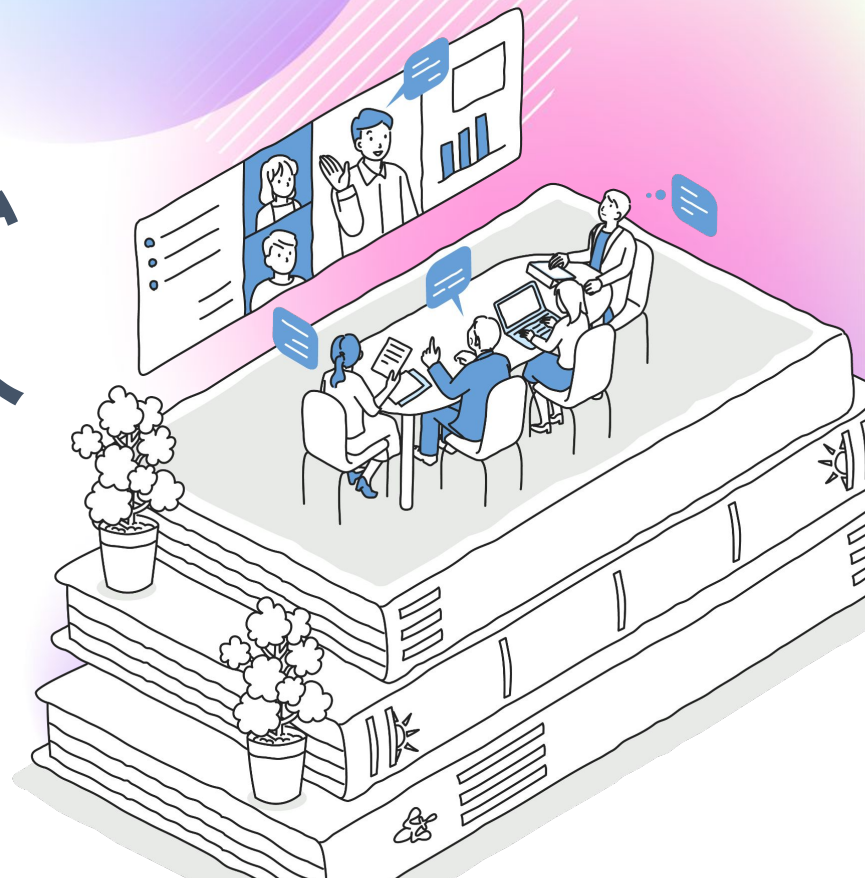


AIロールプレイ研修システム

スーパー
Sparr ご紹介



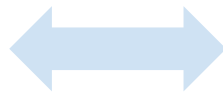
知識があふれる時代の人材育成

知識がすぐに得られる現代において、「知っている」と「できる」の差を埋めることは、人材育成の大きな悩みです。一方、現実の職場に実践の場を用意することは難しく、失敗を恐れず挑戦できる仮想的な環境が必要だと考えます。



「できる」の重要性

- 知識はすぐ手に入るので、「できる」かどうかで差がつく時代
- AIが教科書的な仕事を担うと、現場感をもった「できる」が求められる



実践の難しさ

- 座学研修のテストやワークだけでは、実践力が育たない
- OJTは、失敗が現実の損失に直結するため、思い切り試せない

失敗してもやり直せる、仮想的な挑戦環境が必要

BPO業界における人材育成の変化

BPO事業における「実践」の難しさには、大きく3点があると認識しております。人材の採用が難しくなり、顧客企業でもAI活用が進むこれからは、一人ひとりに求められる現場対応の水準が上がっていくことが想定されます。

顧客からの 業務ヒアリング

- 受託する業務についてお客様からヒアリングを行い、提案につなげる
- ヒアリング漏れ・不足が、提案の手戻りやデリバリ段階でのトラブルにつながる

業務設計と見積

- 過去の類似提案を参照しながら、今回案件の業務設計と見積を実施する
- 類似案件の調査や見積が属人化しがちで、個人のスキル差が大きく出やすい

プロジェクト管理

- メンバー・お客様とコミュニケーションを取りながら、プロジェクトを円滑に進める
- 業務繁忙、お客様からの要望、トラブルなど、突発的な事象への対処が難しい

2つの 時代背景

人材の採用難と離職のリスクから、
育成に時間をかけられない

顧客企業はAIによる自動化を進めるため、
BPO事業者が担う仕事の難易度が上がる

AIロールプレイによる実践力の獲得

AIを活用したロールプレイによって、リスクの高い仕事も、失敗を気にせず何度でも実践できます。AIが顧客や相手役を演じることで、これまで本物の現場でしか身につけなかった力を、リスクなく繰り返し鍛えられます。



OJTでは体験しにくい状況を、音声対話AIと一緒に体験する。

リアル

ルールベースでは実現できない柔軟な対応もAIであれば可能。

安全

リスクのあるシーンもリスクを負わずに実践可能。

繰り返し

経験機会が少ない複雑な状況も、繰り返し経験可能。

2つのユースケース

OJTの代替

- 座学の研修等で習得した知識を実践的に練習
- 現場に出る前に、実務レベルの経験を積む

商談・プロジェクト前のシミュレーション

- 商談やプロジェクトの前に、その状況をシミュレーション
- 難しいコミュニケーションの状況を事前に練習する

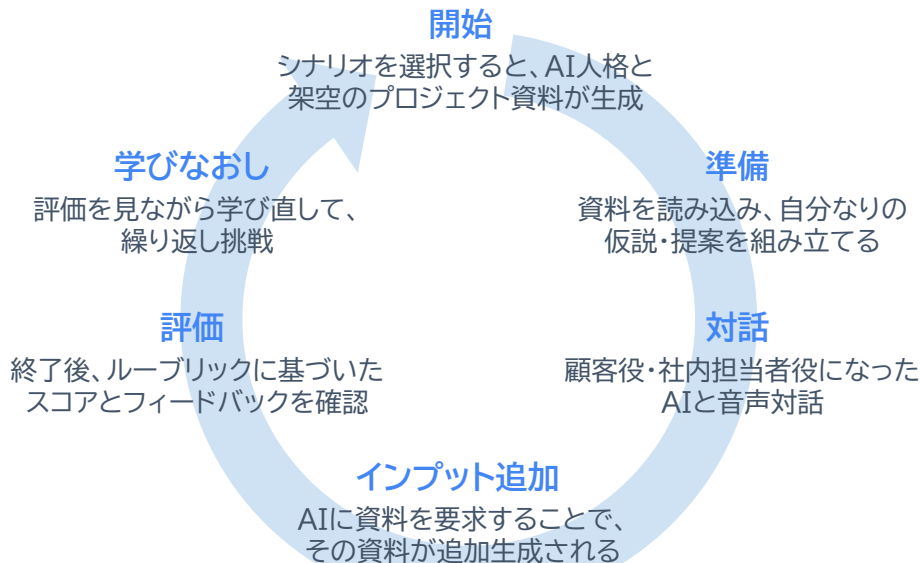
「Sparr」の提供機能

Sparr(スパー)は、AIが顧客役や担当者役を演じ、業務シーンを失敗を気にせず何度でも実践できる研修システムです。実際の業務に合わせてシナリオを柔軟に作成できるため、貴社の現場に即した実践環境を構築できます。

AIロールプレイ研修システム Sparr (スパー)



ロールプレイの流れ



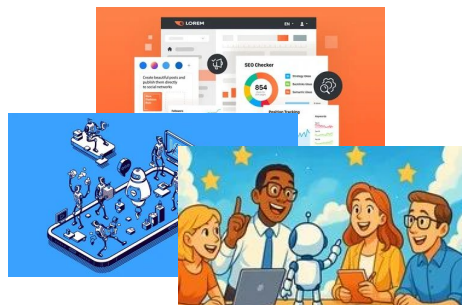
Sparr 3つの特徴

Sparrは、スタディメーターがこれまでの研修で培った様々な業種・業界の課題に対応できるよう設計されています。研修サービスにて実績を持つスタディメーターだからこそ、ロールプレイと学習のサイクルを一気通貫でご提案できます。



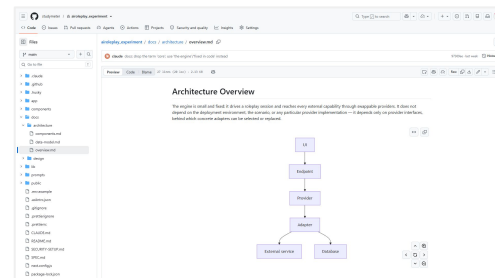
資料との連動

AIに指示することで資料が生成されたり、ユーザのアップロードしたファイルがAI対話のインプットとなる仕組みで、現実の仕事に近い体験ができます。



座学研修との接続

ロールプレイで明らかになった弱点に合わせて、スタディメーターの豊富な研修コンテンツを提案できます。



OSS版の提供

Sparrはオープンソース版を提供しています。独自開発により、貴社独特な要件を組み込むことができます。

シナリオ設計のポイント

Sparrでは「共通シナリオ」「解くべき課題」「AIの性格」「評価基準」の4つを設計でき、この作り込みが学びの深さを左右します。スタディメーターは、これまでの研修実績をもとに、効果的なシナリオ設計をお手伝いします。

Sparrデモ版 「プロジェクトマネージャーのヤバい1日」の設定例



共通シナリオ

DXプロジェクトのUATにおいて、システムの不具合により数字が合わず、ユーザーから詰められている、という状況。この状況の中で、毎回業務領域やシステムの設定が変化する。

解くべき課題と評価基準

セットアップ時に生成される資料において、「要件にはあるがテストされていない」または「業務要件にはあるが機能要件から漏れている」のどちらかが発生する。この不具合原因に気づけたかどうかを評価する。

AIの性格とループリック

キャラ	性格設定	評価基準
ユーザー	立場上、終始非協力的で、現場のことを第一に考える。	部下に調査と資料作成を依頼し、その内容を報告できたか。
上司	丸投げタイプで、主人公にトラブルの責任を押し付ける。	ユーザーとの対応経緯を数字で説明できたか。
部下	専門用語をつかいがちで、話がかみ合わない。	調査してほしいこと、作ってほしい資料を指示できたか。

弊社の人材育成知見と、貴社の業務知見を掛け合わせ、効果的なシナリオを制作します

BPO提案シーンでの活用案

貴社の商談プロセスに沿って、Sparrでは以下のようなシナリオが考えられます。いずれも特別な準備は必要なく、日々の業務で蓄積された情報をご提供いただくことで、現場に即したロールプレイを設計できます。

シナリオ案	概要	制作のポイント	ご準備いただくもの
顧客ヒアリング	顧客企業の担当者役AIと対話し、何をどう聞き出すかを体験する。	よくある受託ケースと、そのつまずきポイントをシナリオに組み込む。	よくある受託業務の種類と、新人がつまずきやすいヒアリング項目
社内ヒアリング・提案作成	類似案件の担当者と話しながら要件に合った提案書を組み立て、情報収集力と提案構成力を鍛える。	必ず聞くべきことを評価基準に設定し、それらを聞き出せたかを採点する。	貴社における提案書の基本的な構成要素と、提案前に必ず押さえるべきチェックポイント
最終提案	作った提案書をAIの顧客役にプレゼンし、想定外の質問への対応力を養う。	刺さらない・持ち帰られるといった反応を設定し、その対処を訓練する。	ありがちなクライアントの反応や、断り文句・指摘のパターン

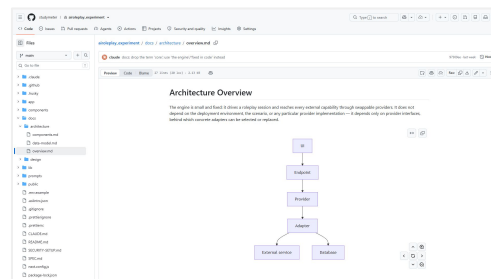
ラインナップ

Sparriは、簡易に実装いただけるSaaS版と、独自の作りこみが可能なOSS版の2種類を提供しております。ご要件に応じてご利用ください。



SaaS版

スタディメーター社環境にログインし、あらかじめ用意されたシナリオのロールプレイを行う。ロールプレイ回数による課金体系で、安価に開始できます。ただし、独自のシナリオ実装やスコア管理機能、セキュリティ要件への対応ができません。



OSS版

MITライセンスにて提供するプログラムをご自身の環境に構築し、自由にご利用いただけます。初期構築のコストは大きくなりますが、オリジナルシナリオの登録や管理機能に加え、プログラムのカスタマイズにより独自の要件を実装可能です。

OSS版トライアルのご提案

よりリアルなロールプレイや、独自のセキュリティ要件に対応するため、最終的にはOSS版の自社運用を推奨しています。しかし、大規模な導入はリスクを伴いますので、まずは小さく効果検証ができるトライアルパッケージをご用意しました。

お見積例

基本価格(税抜)

初期費用	
トライアル環境構築 +3カ月間の環境維持	300,000円
シナリオ制作(1本あたり)	250,000円
セッション券	
ロールプレイ1回分(15分)	1,000円

① トライアル導入

弊社環境を利用して、3カ月間、100回を上限とするトライアルを実施。

スタディメーター	トライアル環境構築 シナリオ2本 ロールプレイ100回	900,000円
----------	-----------------------------------	----------

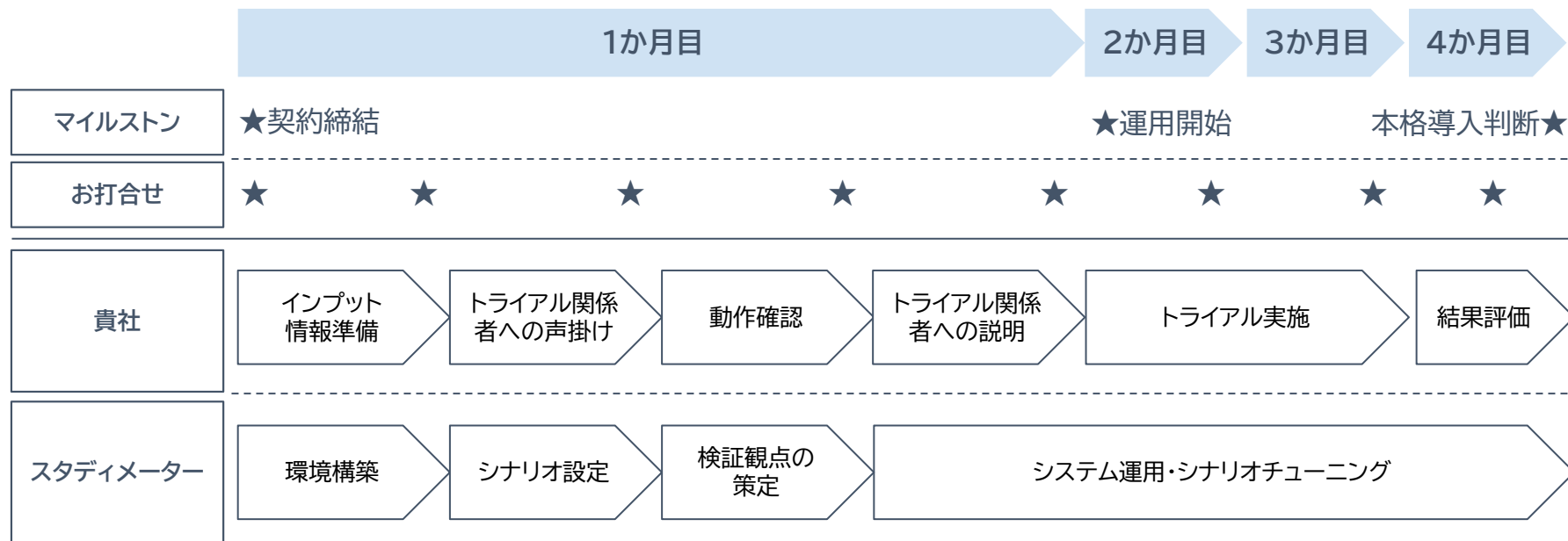
② 本格導入

OSS版を貴社環境に構築し運用。弊社はシナリオ制作をサポート。

スタディメーター	シナリオ3本	750,000円
開発バンダー	OSS版初期構築	2,000,000円～
	運用	50,000円/月～
OpenAI	毎月100回利用	100,000円/月～

トライアル導入のモデルスケジュール

トライアルは、契約後1カ月での利用開始が可能です。その後3カ月程度を目途に運用いただき、結果を確認します。準備期間中は、1週間に1度程度、利用開始後は1か月に1度程度のお打合せを想定しております。



トライアルにおける検証のポイント

トライアルでは、受講者のスコアや成長実感に加えて、座学研修と組み合わせた育成の仕組みとして回せるかを評価することが肝要です。あらかじめ検証ポイントを定めておくことで、本格導入の是非を迷わず意思決定できます。

受講者のスコア推移

受講者に対して一定回数のロールプレイを課し、スコア推移を分析します。ロールプレイシナリオに設定した評価観点をクリアできるようになっていくか、確認します。

受講者の定性評価

受講者に対するアンケートで、ロールプレイによる効果実感を確認します。必要に応じて、シナリオの調整を行います。

研修フローへの組み込み

貴社の既存の研修とロールプレイの対応関係を設計します。自発的な利用を促すのではなく、研修プログラムの一部として「必須」にできるかどうかを確認します。

トライアル実施時、シナリオの策定とともに検証観点の設計も同時にお手伝いいたします



<https://studymeter.jp>